

第4回日本地震工学会「首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する委員会 議事録

日時：2014年12月24日(水) 13:00-15:00

場所：北千住キャンパス 10206(1号館2階)

出席者(敬称略)：久田、大原、小林、増田、猪股、大森、末松、黒沢、高田、佐藤、古屋、大井、中村、加藤、山下(文責)

オブザーバー：安田、菅野、後藤、石川、山本

議事録

1. 自己紹介

2. 前回の議事録確認

3. 報告事項

久田委員長より、

- ・日本地震工学会シンポジウム
 - ・2014年12月5日に開催 23題発表
- ・日本地震工学論文集特集号
 - ・原稿締切 2015年3-4月末
 - ・論文刊行 2015年12月予定

後藤先生より

- ・避難委員会の報告
 - ・年度末にシンポジウムをやる予定なので、特別委員会との連携が望ましい
 - ・連続開催にしたい

4. 研究紹介

1. 東京ガスの防災への取り組み：猪俣 渉 委員
2. 避難シミュレーションの紹介ベクトル総研：末松 孝司委員
3. 被害想定の方法と推定誤差：中村 孝明委員

5. 審議事項

- ・報告書と報告会の実施
- ・報告書の分担決め
 - ・都市型震災・水害・複合災害に関する現状と課題
 - ・被害の予測、ハザードリスク評価
 - ・予防としての具体的な対策方法
 - ・発災時の対応方法
 - ・地域企業などのBCP、DCP/エリア防災計画の立案への利活用
 - ・情報提供、災害情報の受け止め方
 - ・災害レベルに応じたエリア防災は東京ガスの想定との相関はある？
 - ・似た感じであるが、それぞれの分野でまずは3段階を考えてみる
 - ・そもそも複合災害とは何か？
 - ・災害発生後どの程度を考えるか？
 - ・状況が分かって、帰宅するまでなので、避難は最大3日程度
 - ・BCPに利用するなら、インフラの復旧の時間軸が示されないと困るので、
- ・報告会の日程
 - ・今年度の定義が5月末まで
 - ・4月くらいの空いている時期？
 - ・3月11日にこだわるか？
- ・特別委員会のウェブサイトの作成
 - ・研究計画
 - ・メンバー：委員は掲載、オブザーバーの掲載は？
- ・次回の日程
 - ・場所：工学院大学
 - ・2月18日(水) 16時から⇒3/23に変更
 - ・研究紹介候補：増田先生、安田先生、古谷先生